

平成23年2月10日

報道関係者 各位
プレスリリース

カルナバイオサイエンス株式会社
株式会社キノファーマ

アルツハイマーなどの神経変性疾患治療薬の共同研究開始に関するお知らせ

カルナバイオサイエンス株式会社（本社：神戸市中央区、代表取締役社長：吉野公一郎、以下「カルナバイオサイエンス」）と株式会社キノファーマ（本社：東京都文京区、代表取締役：黒石眞史、以下「キノファーマ」）は、このたび、ダウン症やアルツハイマー型認知症などの神経変性疾患の治療薬の創製を目的とする共同研究契約を本日付で締結しましたのでお知らせいたします。

ダウン症は21番染色体が一本過剰に存在（21トリソミー）する遺伝子疾患で、発生頻度は数百人に一人といわれています。また、遺伝子疾患であるために根本的な治療方法はなく、40歳以降にアルツハイマー型認知症を高い確率で発症することが知られています。ダウン症患者の脳内では、21トリソミー中に位置するある種のキナーゼが過剰発現していることが判明していることから、このキナーゼがダウン症やアルツハイマー型認知症などの神経変性疾患の発症に強く関与していると考えられています。

今回、カルナバイオサイエンスとキノファーマとは、これまで両社が培ってきたキナーゼ阻害薬に関する創薬技術を駆使し、ダウン症やアルツハイマー型認知症などの神経変性疾患治療薬の創製を目指すことで合意いたしました。

本共同研究では、カルナバイオサイエンスの保有する世界最大級のキナーゼプロファイリングパネルおよび高い創薬化学技術と、キノファーマが東京医科歯科大学から技術移転を受けて独自に開発した新しい創薬評価技術とを組み合わせることによって、日本発の画期的な治療薬の開発を目指します。

カルナバイオサイエンスとキノファーマは、今回の共同研究により両社の革新的なキナーゼ創薬技術があいまって、飛躍的に本創薬研究が進捗し、これらの疾患で苦しむ患者の方々に新たな作用メカニズムに基づく画期的な治療薬が提供できることを期待しています。

以 上

(ご参考)

カルナバイオサイエンスの概要

- (1) 名 称： カルナバイオサイエンス株式会社
- (2) 代 表 者： 代表取締役社長 吉野 公一郎
- (3) 所 在 地： 神戸市中央区港島南町1丁目5番5号
- (4) 設立年月日： 平成15年4月10日
- (5) 事 業 内 容： キナーゼ阻害薬の創薬基盤技術を用いた製品・サービスの販売（創薬支援）
および医薬品の研究・開発（創薬）
- (6) WEBサイト： <http://www.carnabio.com/>

キノファーマの概要

- (1) 名 称： 株式会社キノファーマ
- (2) 代 表 者： 代表取締役 黒石 眞史
- (3) 所 在 地： 東京都文京区本郷3丁目6番13号
- (4) 設立年月日： 平成17年4月11日
- (5) 事 業 内 容： キナーゼを標的とした医薬品の研究・開発
- (6) WEBサイト： <http://www.kinopharma.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

カルナバイオサイエンス株式会社

経営管理本部 経営企画部 IR担当

TEL : 078-302-7075